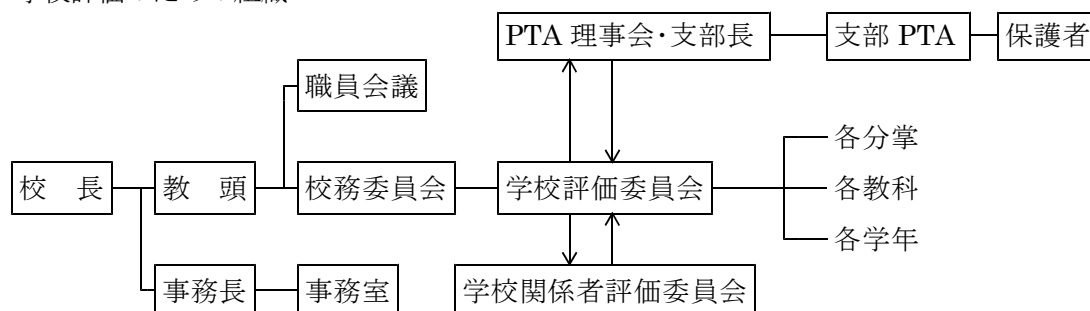


学 校 評 価

(1) 学校評価のための組織



(2) 学校評価の年間計画

月	評価委員会等	PTA理事会・支部長会	生徒	保護者
4月	①本年度重点目標提示 (校長) ②各分野で本年度重点目標設定 ③具体的方策の策定 ④評価規準・基準の設定 ⑤評価方法と結果の公表方法検討		重点目標提示 (分掌主任講話)	
5月	上記①～⑤のまとめ	重点目標提示 (PTA総会) ・支部総会で意見聴取 ・支部長会でまとめ		重点目標提示 (PTA総会・HP)
6月	評価項目検討 (自己評価・外部評価)			重点目標提示 (1,2年保護者会)
7月	評価アンケートの集計		評価アンケートの実施	重点目標案内 (PTA広報誌)
8月	中間評価の実施 (分掌) 計画の修正 (分掌)			
9月	中間評価・計画の修正提示		計画修正の提示	中間評価の公表 (本校HP)
11月	評価アンケート作成・実施	評価アンケート実施 (理事会で実施)		評価アンケート実施 (PTA理事会)
12月	評価アンケート集計		評価アンケート実施	
1月	評価アンケート分析 年度末自己評価の検討			
2月	学校関係者評価委員会の開催 →外部評価の実施 最終評価まとめ 次年度への課題及び次年度行動目標の検討	年度末自己評価提示 (PTA理事会)	年度末自己評価提示	
3月	次年度行動目標の策定		次年度行動目標の提示	最終評価公表 (本校HP) 最終評価案内 (PTA広報誌)

(3) 本年度の学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>1 品位ある西高生 時を守り、場を清め（身の周りをきれいにする）、礼を正せ。 ・時間厳守・挨拶の励行・人権意識の発揚・環境美化</p> <p>2 智をみがく西高生 ・高い志と強い意志・意欲の涵養（自己啓発と挑戦） ・確かな学力の育成（基礎基本の充実と思考力・判断力・表現力の伸長） ・授業・補習等への積極的な取組 ・校外での学習活動の促進 ・グローバルな教育活動の取組（あいちスーパーイングリッシュ・ハブスクール事業、国際理解コース）</p> <p>3 逞しい西高生 ・文武両道・部活動や学校行事への積極的参加と取組・疾病・傷害の未然防止 ・不登校生徒や不安定な生徒への早めの対応→教育相談体制のさらなる充実</p>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>学校行事 (総務部) (生徒指導部) (各学年会)</p>	<p>式典や集会を通じた 品位・品格の向上</p>	<p>・式典の意義の啓発と、式典に相応しい身だしなみをと おした西高生としての自覚 向上</p>	<p>・西高生としての自覚を高めるために式典の意義を伝えながら、服装や立ち居振る舞いなど、社会の一員としてのあり方を体得する。</p>
	<p>P T Aとの連携の推進</p>	<p>・P T A活動の主体的な取組 への支援と、P T Aとの情報 交換・情報発信の充実</p>	<p>・P T A活動の啓発に際して、文書と併用してきずな ネットを利用して連絡の徹底を図る。</p>
<p>学習指導 (教務部) (進路指導部) (各教科会) (各学年会)</p>	<p>学習意欲の喚起</p>	<p>・3年間を見通した教科シラ バスの積極的活用 ・成長を実感できる授業の研究</p> <p>・発展性のある学力の育成</p> <p>・校内外の様々な学習の機会 の積極的活用</p>	<p>・年度当初や科目の履修開始時期に配布、説明すること で見通しを持った学習を働きかける。 ・授業で成長が実感できることは、学習意欲の喚起に は不可欠である。授業公開や研究協議、生徒による 授業アンケートなどを基に教科全体の指導力向上を 図る。 ・充実した言語活動を伴う授業を行うことで、基礎基 本の定着に留まらず、発展性のある学力と高い知性 を身につけさせる。 ・校内外を問わず、様々な学習の場に生徒が参加し、 学習意欲を高める機会を提供する。</p>
<p>生徒指導 (生徒指導部) (各学年会)</p>	<p>安心安全な学校生活 に繋がる道徳意識の 醸成</p>	<p>・規範意識と心豊かな人間性 の涵養 ・交通安全意識の向上</p> <p>・自己防衛意識向上に向けた 啓発活動の展開 ・いじめを見逃さない集団作り</p>	<p>・日常的指導を繰り返し、声をかけることにより意 識を高める。 ・交通安全、交通事故防止に関し、日常的に声をか けることにより、意識を高める。 ・不審者情報について迅速に生徒に伝え、被害防止 に努める。 ・生徒の日常、いじめアンケート、教育相談委員会 などから情報があれば、保護者や専門家等との連 携のもと、全教職員が状況を共有し、対応する。 年度末には校務委員会で結果の検証を行う。</p>
<p>進路指導 (進路指導部) (各教科会) (各学年会)</p>	<p>生徒の希望進路の 実現</p>	<p>・補習等の課外指導の充実</p> <p>・進路情報の分析検討と適切 な提供</p>	<p>・習熟度別講座や大学別対策講座を取り入れるなど の工夫をさらに進める。 ・大規模な改組をする（した）大学から先生を招い て説明会を開くなど、情報収集に努める。</p>
<p>保健指導 (保健部) (各学年会)</p>	<p>清掃美化活動への取 組と相談活動の推進</p>	<p>・清掃活動の充実</p> <p>・相談活動の充実</p>	<p>・清掃美化活動に率先して取り組むことができるよ うに努める。 ・健康観察等により、心身の変調に関する早期の相 談活動に努める。</p>
<p>部活動 生徒会行事 (生徒会部) (各学年会)</p>	<p>部活動成果の向上 と、学校行事の充 実・発展</p>	<p>・日々の活動の充実</p> <p>・委員会活動の活性化と生徒 の主体的な参加</p>	<p>・教員間の連携を深め、活動時間を確保するととも に、工夫のある練習を行えるようにする。また、 部活動を通じて感謝の心や規範意識を育てる。 ・委員会活動を通じて、生徒会行事への生徒の主体 的な参加を促すとともに、リーダー育成を図る。</p>
<p>読書指導 (図書部) (各教科会) (各学年会)</p>	<p>積極的な図書館利用 の推進</p>	<p>・生徒の読書推進</p> <p>・利用しやすい図書館への工 夫</p> <p>・図書委員による図書館理用 活動の充実</p>	<p>・「図書館だより」を通して生徒の読書意欲を喚起す る。長く読み継がれる古典的名作と現代作品をバ ランス良く紹介する。 ・照明や書架の配置を工夫することで、入りやすく くつろげる空間作成を心掛ける。調べ学習等の利 用にも適した場所の提供を工夫する。 ・企画展に、図書委員全員で取り組む。広報活動を 活発にして図書館利用者の増加を図る。</p>
<p>学校関係者評価を実施する 主な評価項目</p>	<p>・発展性のある学力の育成 ・品位・品格の向上と自律心の育成</p>		

(4) 前年度の学校評価
ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	<p>1 品位ある西高生 時を守り、場を清め（身の周りをきれいにする）、礼を正せ。 ・時間厳守・挨拶の励行・人権意識の発揚・環境美化</p> <p>2 智をみがく西高生 ・高い志と強い意志・意欲の涵養（自己啓発と挑戦） ・確かな学力の育成（基礎基本の知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成、言語活動の充実） ・授業・補習等への積極的な取組 ・校外での学習活動の促進（知の探究講座やSGH事業等への参加） ・グローバルな教育活動の取組（あいちスーパーイングリッシュ・ハブスクール事業や国際理解コース設置への取組等）</p> <p>3 逞しい西高生 ・文武両道・部活動や学校行事への積極的参加と取組・疾病・傷害の未然防止 ・不登校生徒や不安定な生徒への早めの対応→教育相談体制のさらなる充実</p>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学校行事 (総務部) (生徒指導部) (各学年会)	式典や集会を通しての品位・品格の向上	・式典の意義の啓発と式典に相応しい身だしなみをとった西高生としての自覚の向上	・式典の際の身だしなみ指導を通して、正しい身なりや式に臨む心構え等の指導をすることができた。今後は自主的に整えられるよう、日頃の指導を大切にしていきたい。
	PTAとの連携の推進	・PTA活動の主体的な取組への支援とPTAとの情報交換・情報発信の充実	・PTA活動の啓発に際して、きずなネットを利用して連絡の徹底を図った。今後も利用していきたい。
学習指導 (教務部) (進路指導部) (各教科会) (各学年会)	学習意欲の喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した教科シラバスの積極的活用 ・成長を実感できる授業の研究 ・発展性のある学力の育成 ・校内外の様々な学習の機会の積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバス類の活用がまだ不十分である。3年間を見通した積極的な活用が必要である。 ・アンケート結果を見るとまだまだ研究の余地はある。公開授業などを通して授業改善に取り組む必要がある。 ・学力定着のため、学習時間の少ない生徒には学習習慣を身につけさせるなど、全体的に学力が向上する方策を考える必要がある。 ・学びの機会を拡大する取組を今後も継続するが、多くの生徒に情報発信をしていきたい。
生徒指導 (生徒指導部) (各学年会)	安心安全な学校生活に繋がる道徳意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識と心豊かな人間性の涵養 ・交通安全意識の向上 ・自己防衛意識向上に向けた啓発活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的指導を繰り返し、意識は高められている。 ・交通安全、交通事故防止に関しても、日常的に声をかけることにより、意識が向上してきている。 ・不審者情報については、迅速に生徒に伝え、被害防止に努めた。
進路指導 (進路指導部) (各教科会) (各学年会)	生徒の希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・補習等の課外指導の充実 ・進路情報の分析検討と適切な提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度を取り入れたり、発展問題にも取り組むなど、各教科で工夫してもらえた。 ・検討会を通して学年で情報を共有し、生徒に発信することができた。
安全指導 (保健部) (各学年会)	清掃美化活動への取組と相談活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動の充実 ・相談活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃美化活動に率先して取り組むことができた。 ・心身の変調に関する相談活動ができた。
部活動 生徒会行事 (生徒会部) (各学年会)	部活動成果の向上と、学校行事の充実・発展	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の充実 ・委員会活動の活性化と生徒の主体的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が積極的に部活動に参加しており、各種大会等で成果を残した。 ・多くの生徒が委員会活動に参加し、積極的に取り組んだが、より主体的に取り組めるような試みをした。生徒会執行部への積極的な参加は、毎年の課題として急務である。
読書指導 (図書部) (各教科会) (各学年会)	積極的な図書館利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の読書推進 ・利用しやすい図書館への工夫 ・図書委員による図書館理用活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館だより」で紹介した本をさがしに図書館に来る生徒が多かった。読書に対する意欲の高い生徒が何人もいて、手応えを感じた。 ・館内全体の配置を新しくしたので、図書館に入りやすい感じになった。また、調べ学習などでの利用がしやすくなった。 ・企画展の準備は、図書委員一丸となって取り組むことができた。図書館利用者の増加につながる企画だと思われる。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・発展性のある学力の育成 ・品位・品格の向上と自律心の育成 		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校評価アンケート 2 発展性のある学力の育成
自己評価結果について	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校評価アンケート結果について <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業改善に関しては、今後も推し進めていく。 (2) 環境美化活動に関して、生徒は一生懸命に清掃に取り組んでいるが、保護者からは評価が低い。 (3) 授業の理解度は、保護者が考えるよりも生徒は理解していると考えている (4) 学習シラバスの活用を進める。 (5) 学校行事や部活動への取組は満足度が高い。 2 発展性のある学力の育成に向けて <ol style="list-style-type: none"> (1) 今年度の学習アンケートの結果、生徒の学習時間が減少している。 (2) 来年度入学生から「国際理解コース」の募集が始まる。2年次からコース展開し、学校設定科目、海外勤務経験者の講演、大学との連携、国際交流事業への参加、留学（長期・短期）、海外修学旅行（現地高校との交流）などを通して、グローバル人材を育成する。
今後の改善方策について	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校評価アンケートについて <ol style="list-style-type: none"> (1) 過年度比較ができるとうい。 (2) 学年が違えば同じ項目でも回答は異なるので、集計は学年別に。 (3) 調査数が少ない。クラス単位でなく無作為抽出するか、全生徒に実施するなどして、偏りのないデータとするべき。 2 発展性のある学力の育成に向けて <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習時間の減少と学力との相関を分析し、原因と対応策を考えるべき。 (2) 充実した施設設備や少人数教育により、国際理解コースを西高の目玉に。 (3) 西高生の海外留学や、海外からの留学生の受け入れを促進する。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望等）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事から、生徒が学校生活を楽しんでいる印象が見て取れる。 ・これまでのよい伝統を活かしながら、新しい伝統を築いていってほしい。 ・コース新設や進学状況等から、学校が頑張っていることが分かる。 ・学校評価アンケートに様々な解釈ができる質問がある。何がどのように良いのか悪いのかの具体的な質問とし、曖昧な問いは避けるべき。 ・予餞会はとてもよい行事である。学校の雰囲気や教育の成果の集約である。 ・通勤電車内で見かける西高の生徒たちは、スマホでなくプリントの問題を解いている。生徒たちは頑張っていると思う。 ・勤務時間通りにはいかないのが教育。子どもの面倒をよく見ていただき大変有難い。 ・親の勉強の場である講演会を、今後も実施していってほしい。 ・卒業した兄が今も西高のジャージを着るときがある。いい思い出が作れる学校だからだと思っている。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員4名、PTA役員9名、学校3名 ・評価時期・・・平成29年2月17日（木）

(5) 経営管理上の問題点等

本校は、職員と生徒、保護者が一体となって築き上げてきた伝統を継承しながら、社会の変化に対応した学校づくりを目指してきた。特に進路指導においては、家庭と連携しながら、生徒一人一人の自己実現を図っている。しかし、以下に示すような施設、組織、指導の問題が生じてきている。

ア 施設・設備の問題点

耐震補強工事や小体育館跡地の整備も完了し、落ち着いた環境づくりができています。しかし、体育館の内壁面、通路の雨よけなどに老朽化が進行しており、改修工事等が必要な現状である。

イ 組織上の問題点

ベテラン教員の退職や異動により若手教員が急増し、組織を支える有為な人材の育成が急務となっている。特に学年主任を中心とする学年団主導の指導体制を充実させ、各学年主任の特性が発揮しやすい体制を整えることで若手教員を育てていかなければならない。

ウ 指導上の問題点

(7) 生徒の学習や生活のスタイルだけでなく、物事のとらえ方や関わり方への変化が顕著であり、基礎基本の充実と共に思考力・判断力・表現力の伸長が課題となっている。各教科で指導方法の見直しを検討していく必要がある。

- (イ) 生徒一人一人に対応した進路指導のためには、長年蓄積された知識・経験と新しい入試制度に対応した進路指導の確立が急務である。
- (ウ) 国の教育グローバル化の方針を受けて生徒の学びを深める取組が今後一層必要とされる。5年目となるあいちスーパーングリッシュハブスクール事業の取組、留学生の受入れ、本校生徒の留学など、新たな取組に対応できる体制づくりが必要である。
- (エ) 問題行動は少ないが、学校不適應の生徒、基本的な生活習慣の確立が不十分な生徒、規範意識の希薄な生徒が増えてきた。情報交換を密にし、生徒一人一人の理解に努め、カウンセリングの充実を図りながら、問題となる生徒の早期発見及び支援体制をより一層充実させていく。
- (オ) 70%以上の生徒が自転車通学であり、交通事故が懸念される。幸い大事故は発生していないが、今後も地域や家庭との連携を取りつつ、交通安全指導の一層の強化に努めていく。また、自転車通学、電車通学ともに公共の場所におけるマナー向上は大きな課題である。